

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和8年度 第1回相模原市総合計画審議会(次期総合計画策定)		
事務局 (担当課)		政策課 電話042-769-8203(直通)		
開催日時		令和8年7月16日(木) 9時50分～11時10分		
開催場所		相模原市役所本庁舎本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	22人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	9人(政策部長、ほか8人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		(1) 次期総合計画策定について (2) その他		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり

審議会の規則に基づき、飯島会長、中西副会長を互選により選出した。
岡田政策部長から飯島会長に諮問書を手交した。

(1) 次期総合計画策定について

事務局より次期総合計画の策定について概要説明を行った。

(飯島会長) 事務局からロジックモデルを取り入れた計画策定を行っていく旨の説明があった。ロジックモデルを取り入れることで、担当課が事業実施のために行っている分析を明文化する効果や、進行管理において計画的な政策実行の点検を可能にし、社会に定着する政策形成になる効果を期待できるが、市の担当課における作業量は増えると思われる。審議会としても実のある政策形成となるよう支援していければよいと思う。

(榎本委員) 進行管理をしっかりと行い、事業が増えすぎることを防ぐという説明があったことについて、重要な視点だと思うが、これまで事業の精査という視点は主に財政局が取り組んできたものと認識しており、今後どちらが主導して実施しているのか考え方を伺いたい。また、区別基本計画は区役所を中心に検討を進めるとのことだが、現行計画に関して、緑区の中山間地域は歴史や環境面など特有の傾向があるが、緑区の橋本地域や中央区、南区の都市部ではエリアによる違いや周辺のまちづくりの状況による違いはあるものの、区別の計画と市全体の計画ではほとんど内容が変わらない状況である。他自治体の事例でもエリアを絞って重点的な施策の検討等を行っているところもあり、区民意識の醸成という観点で区別の計画を作成していく意義がどこまであるのかという点については検討が必要だと考える。また、重点施策について、国の動向の変化に合わせた改訂という視点も重要であるが、市の政策として重視する要素という視点や、それに取り組む市の思いをしっかりと反映したものにしていただきたい。

(事務局) 市長公室と財政局の役割分担について、総合計画の進行管理は市長公室が行っており、個々の事業の予算査定は財政局が担っている。引き続き役割分担を持って進行管理を行っていきたい。区別基本計画について、現在は総合計画の中に位置付けがあり、市全体の計画の内容と差異が少ない点は課題と感じている。今回は区別基本計画とはせずに、区の取組を分かりやすく掲載するように工夫し

たいと考えている。重点施策については、市として力を入れて取り組むべき内容が何かという視点で取り組んでいく一方で、今後10年の長期間を見据えた計画とするため、国の政策動向を踏まえた対応をしていくことも重要であると考えている。

(榎本委員) 現行の総合計画においても、市として力を入れていく視点に首都圏南西部における広域交流拠点の形成が挙げられており、橋本・相模原の一体的なまちづくりは区を跨る取組になる。区ごとに検討することも重要であるが、エリアごとの重点的な取組という視点でも検討いただきたい。また、計画の進行管理について、ロジックモデルに基づき厳格に行っていくと、事前に計画に掲載されていない取組の提案が採用されづらくなるといった側面もあるのではないかと考えるが、そのあたりはどのように考えているか。

(事務局) 新しい取組を行わないのではなく、そうした提案に対し、毎年しっかりと効果を議論し検証した中で、めざす将来像につながっていく取組を採用することや、スクラップアンドビルドの検討をしていきたいという考えである。ロジックモデルを活用することで、事業の効果・成果を示したうえで、事業の取捨選択等の判断を行っていきたいと考えている。

(飯島会長) 区別基本計画に関して、私も中央区の区民会議の会長をしていた経験から、区民会議で新たな取組の提案をしても、区には予算がないという課題があると認識している。一方で区民会議には色々な団体の方が参加しており、様々な地域の現場の声が挙がって、それをまとめあげるような場になっている。現行の区別基本計画は、地域の方が市民協働の結果として取り組んできた内容がアウトプットされている状態なのではないかと感じる。次期総合計画における区別の取組については、どのようなものにしていくか、もう少し検討が必要ではないかと感じている。また、重点施策については、ロジックモデルを活用することで事業の見直しが進むため、優先的な取組に予算を振り分けるといった柔軟な運用が期待できるのではないかと考えている。

(鈴木委員) 総合計画とは市が将来に向かってどのように取り組んでいくかの設計図であり、EBPMやロジックモデルはその正確性を担保するものであると理解している。そうした設計図に沿って取組を行った結果、2040年頃に相模原市がどのようなになっているかということを、市民が思い浮かべることのできる完成予想図が必要なのではないかと考えるが、そうしたものを作成する考えがあるか伺いたい。

(事務局) 市民目線で、総合計画からはイメージしづらい点もあると思う。基本構想は概ね20年後の将来像を設定しているところであり、17の政策は今回改訂しないが、それに紐づく47の施策に対し、ロジックモデルを用いて市民にとって分かりやすいものとなるようにつくりたいと考えている。より大きな視点での未来予想図といったものをつくるのか、今の時点では決定していないが、それぞれの施策のロジックモデルの検討を進める中で様々な意見を伺いながら検討していきたい。

(鈴木委員) 市民の方にとってイメージがしやすいものとして、総合計画とは別に将来のまちづくりの完成予想図をつくることも是非検討いただきたい。

(加藤委員) これまでの人口減少対策としての重点施策から、人口減少したうえでも持続可能な社会をつくるという政策目的は理解できるが、政令市でも急速に人口減少が予想され、都市そのものの在り方の見直しを迫られる時代に入った。各区の在り方やまちづくりなどを様々な情勢変化が進み予測がしづらい中で、将来的にも課題となり得る現状について、どのように分析を進めていくのか。また、空き家の実態把握の仕方や、一人暮らしの高齢者の急増など、地域課題の具体的な実態調査をどのように進めていくのかなど、見解を伺いたい。大都市において、大企業が行う大規模な事業の撤退・中止なども相次ぎ、物価高や人口減少など、これまで以上に予測のしづらい時代に入った中、見直し時期は5年でよいのかといった点なども考え方を伺いたい。

(事務局) 各担当課が計画に基づき事業を行う中で、様々なデータを持っているが、バックカスティングやEBPMなどの視点で政策に生かしていくということが十分にできていなかった。今後は庁内にEBPMを浸透させることも重要であり、職員一人ひとりが根拠のある政策形成という意識を持てるよう取り組んでいきたい。

(加藤委員) 職員一人ひとりが直接調査を行うわけではないため、実態と乖離する調査や数値も多くあるのが現実であり、これまで以上に実態にあった調査や研究が求められている状況にあるといった点で意見を申し上げた。

(飯島会長) 担当課は数字を集めなければならないため大変ではあるが、それを行うことで政策の精度を高めていけるため、政策の立て方がこの10年で変わるという意気込みで取り組んでいただきたい。

(荻野委員)「基本構想に掲げる政策の実現に真に必要な施策を検討する」とあるが、事業を削るのは難しいと考える。点数化して事業を評価するのかなど、具体的にどのように真に必要な施策と評価するのかなど、想定があれば伺いたい。

(事務局) ロジックモデルは、目指す将来像の成果からバックキャスティングで何を取り組むかを検討するものであり、庁内の検討会議で真に必要な取組は何であるのか、見直し・廃止を行うかなどをしっかりと議論していきたい。

(飯島会長) 点数化して評点が低いからやめるといったやり方ではなく、効果が出ているかを確認して、実施方法を変えるのか、やめるのかなどを判断するもと考えている。

(荻野委員) 人によって評価する視点が異なり、同じ事業でも重要度が変わると思うため、どのように公平に評価していくのかが気になったため質問した。

(2) その他

事務局から事務連絡を行った。

- ・ 現行の計画の進行管理については、有識者5名及び公募委員5名の計10名で審議をしていただく体制で考えている。
- ・ 第二回の審議会は8月25日(火)午後1時から本庁舎第1特別会議室で開催する。第三回は10月28日(水)を予定している。その後の審議会については別途調整させていただく。

以 上

相模原市総合計画審議会委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	飯島 泰裕	青山学院大学 社会情報学部 社会情報学科 教授	会長	出席
2	中西 泰子	相模女子大学 人間社会学部 社会マネジメント学科 教授	副会長	出席
3	榎本 揚助	相模原市議会議員（さがみみらい）		出席
4	渡部 俊明	相模原市議会議員（自民党）		出席
5	臼井 貴彦	相模原市議会議員（立民）		欠席
6	鈴木 秀成	相模原市議会議員（さがみみらい）		出席
7	加藤 明德	相模原市議会議員（公明党）		出席
8	寺田 弘子	相模原市議会議員（自民党）		出席
9	白石 卓之	相模原市教育委員会 委員		出席
10	阿部 健	相模原市農業委員会 会長		欠席
11	落合 幸男	相模原市農業協同組合 代表理事組合長		出席
12	杉岡 芳樹	相模原商工会議所 会頭		欠席
13	久保 武史	相模原市 PTA 連絡協議会 副会長		出席
14	大木 恵	相模原市自治会連合会 会長		欠席
15	廣田 静香	公益社団法人 相模原青年会議所 理事長		欠席
16	笹野 章央	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 会長		出席
17	福原 信広	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら 代表理事		出席
18	田中 康介	相模原地域連合 議長		出席
19	細田 稔	一般社団法人 相模原市医師会 会長		出席
20	小泉 秀樹	東京大学 先端科学技術研究センター 工学系研究科都市工学専攻 都市計画講座 まちづくり研究室 教授		欠席
21	永井 暁子	日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授		出席
22	牧瀬 稔	関東学院大学 法学部 地方創生学科 教授		欠席
23	吉田 久仁子	和泉短期大学 児童福祉学科 准教授		出席
24	石森 寿幸	公募委員		出席
25	漆原 愛沙	公募委員		欠席
26	荻野 弓希子	公募委員		出席
27	西尾 孝司	公募委員		出席
28	田野倉 義信	緑区区民会議 副会長		出席
29	山口 信郎	中央区区民会議 副会長		出席
30	井坂 聡	南区区民会議 会長		出席